

# なす からすやま

No.157

Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City



平成29年度の決算状況	2
第4回市議会定例会	6
市水泳大会	8
シリーズ在宅医療のあれこれ・消費者コラム	11
スポーツで大活躍	12
まちのわだい	14
インフォメーション	16
烏山高校の紹介・ジオパーク構想だより	18

2018

10  
October

伝統を受け継ぐ (9月2日、三箇塚の天祭)

# 決算 29年度

SETTLEMENT OF ACCOUNTS

## 平成29年度の決算状況 一般会計歳出総額は約1116億4千万円

平成29年度の決算状況がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

29年度は、市総合計画「みんなの知恵と協働によるひかり輝くまちづくり」の仕上げの年として後期基本計画の施策実現を目指し、限られた財源の計画的な活用を基本とし、各種事業を展開してきました。

ユネスコ無形文化遺産「烏山の山あげ行事」の伝承拠点として、山あげ会館施設整備事業、社会資本整備総合交付金および合併特例債を活用した道路整備事業をはじめ、畜産振興として畜産担い手育成総合整備事業などにも取り組みました。

### 一般会計

平成29年度の一般会計の決算状況は、歳入が122億7105万3877円、歳出が116億4297万1838円で、28年度の決算額と比較すると、歳入は3億6931万2千円（2・9％）の減額、歳出は3億9370万4千円（3・3％）の減額となりました。

※以下、一般会計の千円未満は四捨五入。

### 【歳入】

市税は、償却資産の伸びによる固定資産税の増収などにより32億9869万円、対前年比1億5012万3千円（4・8

％）の増額となりました。

地方消費税交付金は3・2％、自動車取得税交付金は17・0％の増額となりました。

地方交付税については、普通交付税の合併算定替の縮減措置が2年目となり、また、基準財政収入額が伸びたことなどから1億2359万3千円（3・0％）の減額となりました。

特別交付税は219万1千円（0・4％）減額となり、総額で45億4090万4千円、対前年比1億2578万4千円（2・7％）の減額となりました。なお、本市においては、合併団体のため平成27

年度までの10年間、特例措置として、一本算定と合併算定替を比較して有利な額が交付されてきました。

国庫支出金は、地方創生加速化交付金の減額により、4972万8千円（3・8％）の減額となりました。

県支出金は、畜産担い手育成総合整備補助金の増額により、8243万6千円（10・3％）の増額となりました。

財産収入は、旧江川小学校の跡地売却収入の減額などにより、5905万1千円（80・5％）の減額となりました。

繰入金金は、財政調整基金等の取り崩しの減額により、1億9642万5千円（47・3％）の減額となりました。

市債は、武道館建物本体工事の完了などにより、1億890万円（16・2％）の減額となりました。

### 【歳出】

議会費は、退職に伴う議員報酬の減額により、対前年比213万1千円（1・5％）の減額となりました。

総務費は、庁舎整備基金積立金の増額などにより、8995万9千円（6・9％）の増額となりました。

民生費は、ここにこ保育園の空調設備改修工事の増額などにより、1508万8千円（0・4％）の増額。民生費については、全体の31・6％を占め、総額で36億8094万1千円となっています。

衛生費は、塵芥処理に係る広域行政事務組合への負担金や浄化槽設置整備費が減額となったことから、4425万5千円（3・2％）の減額となりました。

農林水産業費は、畜産担い手育成総合整備事業の増額により、1億2796万5千円（32・6％）の増額となりました。

商工費は、企業誘致事業費や山あげ会館施設整備費の増額により、8709万8千円（16・7％）の増額となりました。

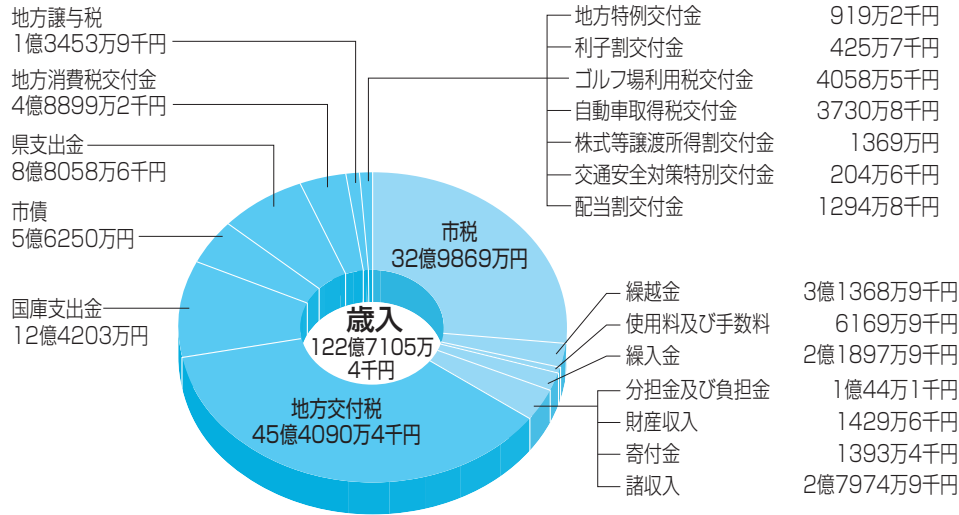
土木費は、JＲ烏山駅前広場整備や道路整備事業費の減額により、8133万円（9・9％）の減額となりました。合併特例債を活用した道路整備は7路線、辺地対策事業債は1路線に取り組みました。

消防費は、消防団詰所建設費の増額により、860万3千円（1・5％）の増額となりました。

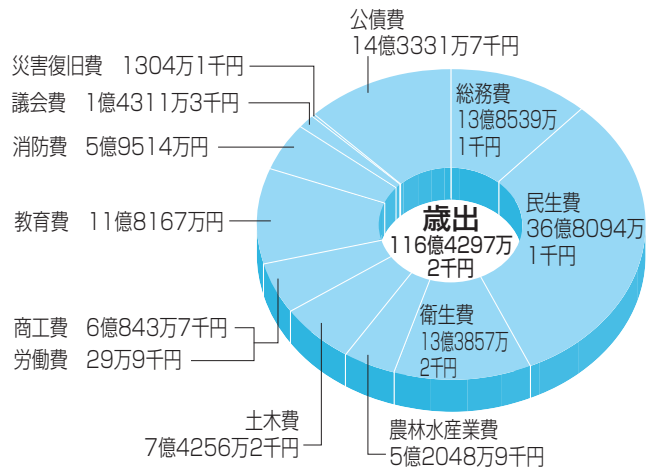
教育費は、武道館建物本体工事や南那須中学校体育館改修工事の完了により、

# 一般会計

※千円未満四捨五入



自主財源 43億147万7千円 (構成比35.1%)  
 依存財源 79億6957万7千円 (構成比64.9%)



## 特別会計・企業会計

■国民健康保険(事業勘定)	■農業集落排水事業
歳入 41億5108万5696円	歳入 5737万3329円
歳出 39億 86万 387円	歳出 5541万2732円
■国民健康保険(診療施設勘定)	■下水道事業
歳入 7448万1151円	歳入 4億2272万2280円
歳出 5923万3826円	歳出 4億 546万 30円
■熊田診療所	■簡易水道事業
歳入 5659万1526円	歳入 1億2130万4349円
歳出 4946万6011円	歳出 1億 785万 744円
■後期高齢者医療	■水道事業(公営企業会計)※
歳入 3億2970万4880円	収益的収入 5億6072万9122円
歳出 3億2311万5987円	収益的支出 4億7072万7122円
■介護保険	資本的収入 4855万9021円
歳入 27億2291万 229円	資本的支出 3億 190万8398円
歳出 26億4759万1122円	

※収益的収支は、サービス提供の対価としての料金収入や人件費、物件費、固定資産の減価償却費など。資本的収支は、効果が次年度以降に及ぶもので、施設整備費や企業債の元金償還金などです。



▲4月1日(日)に山あげ会館がリニューアルオープンしました。

### 特別会計

国民健康保険の事業勘定は、歳入が41億5108万5696円、歳出が39億86万387円となり、対前年度比では歳入歳出とも2.9%の減額となっています。診療施設勘定は、歳入が7448万1151円、歳出は5923万3826円であり、歳入は6.9%、歳出は3.8%の減額となりました。(※事業勘定は、国民健康保険事業を運営する会計で、診療施設勘定は、境診療所・七合診療所を運営する会計です。)

熊田診療所は、歳入が5659万1526円、歳出が4946万6011円となっており、診療収入は5.8%増加となっていますが、一般会計からの繰入金等の減額などにより、歳入総額は9.9%の減額となっています。また、歳出では、駐車場の修繕工事などを実施したため4.1%の増額となっています。

後期高齢者医療は、歳入が3億2970万4880円、歳出が3億2311万5987円であり、歳入は3.3%、歳出は7.6%の増額となりました。

災害復旧費は、農地農業用施設災害復旧費や公共土木災害復旧費の増額により1050万8千円(414.8%)の増額となりました。

公債費は、元利償還金が14億3331万7千円になり、2554万1千円(1.8%)の減額となりました。

出は4・1%の増額となっています。

介護保険は、歳入が27億2291万229円、歳出が26億4759万1122円となりました。また、30年3月末現在の要介護及び要支援認定者数は、1564人であり、そのうち、1315人の84・1%がサービスを利用しており、在宅サービスの利用者が78・3%、施設サービス利用者は21・7%となっています。農業集落排水事業は、歳入が5737万3329円、歳出が5541万2732円となりました。

南那須地区と烏山地区の中心部で供用されている下水道事業は、歳入が4億2272万2280円、歳出が4億546万30円となりました。全体計画249・6haのうち、29年度末で181・2haの整備が終了し、整備率は72・6%となっています。

簡易水道事業は、歳入が1億2130万4349円、歳出が1億785万744円となりました。建設改良は、災害対策として、境東簡易水道施設の耐震2次診断を実施。また、簡易水道区域の管網解析業務を実施し、水道事業への統合準備を進めました。維持管理については、境東簡易水道施設の家用発電設備等の点検および老朽化した境簡易水道浄水場の警報装置交換工事を実施するなど設備保全に努め、有収率は1・9ポイント上がり、83・5%となりました。

### 企業会計

公営企業会計の水道事業は、収益的収入が5億6072万9122円、収益的支出は4億7072万7122円。資本的収入は4855万9021円、資本的支出は3億190万8398円となりました。差引不足額2億5334万9377円は、過年度分損益勘定留保資金および減債積立金取崩額1260万円で補てんしました。

建設改良では、栃木県烏山土木事務所発注の「主要地方道宇都宮・那須烏山線道路改良工事に伴う田野倉地内配水管布設替工事などを実施。水道施設更新事業は、城東浄水場無停電電源装置取替工事などを実施しました。

### 健全化判断比率等の公表

財政健全化法による健全化判断比率4指標である、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率、資金不足比率は次のとおりです。( )内は、早期健全化基準で、どれか一つでも基準を超えると財政健全化計画の策定が義務付けられます。なお、数値については少なくなるほど健全化が図られたこととなります。

- 実質赤字比率…なし(13・67%)
- 連結実質赤字比率…なし(18・67%)
- 実質公債費比率…7・1%(25・0%)
- 将来負担比率…8・9%(350・0%)
- 資金不足比率…該当なし

## もっと知りたい！財政の疑問

ここなす姫たちの疑問に財政さんが答えてくれるそうです！みなさんも一緒に聞いてみましょう。

### ～健全化判断比率編～



ここなす姫

Q1. 財政健全化判断比率は前年度と比べてどう変わったのですか？

A1. 実質公債費比率は0.2% (前年度は7.3%)、将来負担比率は11.0% (前年度は19.9%) 改善されました。実質公債費比率については合併時(平成17年度)以降、将来負担比率については平成25年度以降、前年度を下回り続けています。



財政さん



からすまる

Q2. 実質公債費比率と将来負担比率が改善された理由は何ですか？

A2. 地方債の新規発行を抑制して地方債残高の減額を図ったことが大きな理由の一つです。今後も引き続き数値の改善を目指していきます。



財政さん



やまどん

Q3. 財政状況が厳しいって聞いたけど、これからも厳しいのですか？

A3. 数値が改善されていることは、財政健全化の取り組みが少しずつ成果を表していると言えます。しかし、これはまだ道半ばです。本市の歳入の柱は地方交付税ですが、合併時の有利な計算が終了し、大幅に減額されていく見込みです。そのため、今後行政需要に見合った公共施設の統廃合や更なるコスト削減など、歳出予算の抑制に努めていく必要があります。



財政さん

## ～財政分析指標編～



ここなす姫

Q1. 下の表について教えてください。地方債残高と基金残高とは、どういったお金ですか？

A1. 家庭の家計簿に例えると、ローン（借金）残高と貯金残高です。平成29年度は、前年度より借金を減らして貯金を増やすことができました。「借金は少なく貯金が多い」方が望ましいのは一般家庭も市役所も同じです。引き続き貯金を増やしていけるよう努力していきます。



財政さん



からすまる

Q2. 経常収支比率が前年度より下がっています。悪化しているのですか？

A2. この率が高くなるほど財政状況が苦しくなります。これは、安定的に入ってくる一般財源のうち91.7%は経常的な経費で使い切ってしまうことを示しているからです。前年度より率が下がったことは改善と言えますが、90%を超えているため、公共事業など臨時的経費にお金を回す余力が少ない状態となっています。



財政さん



やまどん

Q3. 標準財政規模が80億円台で推移しています。これは望ましい決算規模を示している金額ですか？

A3. 決算規模ではありません。この金額は、市税や普通交付税など標準的に収入できると見込まれる一般財源の総額を言います。行政運営するための財源としては、これらの他に国や県からのお金や市が借入する地方債などもありますので、29年度の歳入決算額も122億円台となっています。



財政さん



ここなす姫

Q4. 最後に、財政力指数について教えてください。

A4. 財政力指数が「1.0」を超える自治体は、市税などの自主財源で標準的な行政サービスの全てを賄っていることを表します。本市は、「1.0」に満たない分を普通交付税によって補てんされることで、標準的な行政サービスを維持していることとなります。財政力指数を大幅に引き上げることは非常に困難であるため、普通交付税が有利に交付されるような、事業に取り組んでいます。



財政さん

### 財政力分析指標（一般会計）

区分	平成28年度	平成29年度
地方債残高	132億1967万1千円	124億4309万5千円
基金残高	63億7158万円	65億7289万7千円
経常収支比率	92.9%	91.7%
標準財政規模	84億1078万円	83億3300万4千円
財政力指数（3か年平均）	0.437	0.441
財政力指数（単年度）	0.444	0.450



平成29年度の決算を認定

30年度一般会計は114億6454万2千円に

平成30年第4回市議会9月定例会が9月4日(火)から19日(水)までの16日間の日程で開かれ、平成30年度補正予算や条例の一部改正、人事案など13議案が原案どおり可決され、3件の報告がありました。また、29年度の9会計の決算が認定されたほか、市議会議長あてに提出された陳情書1件が採択され、意見書2件が提出されました。主な内容は次のとおりです。

詳しくは、議会事務局 ☎ 0287-8817114 までお問い合わせください。

29年度の決算認定

一般会計と7つの特別会計および企業会計の決算が認定されました。詳しくは2〜5ページをご覧ください。

30年度の補正予算

○一般会計

平成30年度一般会計予算の歳入・歳出をそれぞれ1億185万3千円増額し、補正後の予算総額を114億6454万2千円としました。

主な内容は、ふるさと応援基金積立金238万4千円の増額、マイナンバー等の記載の充実に係るシステム改修費とした社会保障・税番号制度システム整備事業費201万4千円の増額、確定申告事務の効率化と申告受付時の待ち時間短縮などのため住民税申告受付事業費として256万6千円の増額、市単独土地改良事業費351万6千円

の増額、烏山城築城600年記念の前夜祭を兼ねた「市民秋祭り」のため観光振興費300万円の増額、道路やトンネルの補修・支障木の伐採に対応するため道路維持管理費3133万6千円の増額、2か所の道路排水施設整備を行うため道路保全費1700万円の増額、社会資本整備総合交付金の配分決定に伴う道路整備費1590万円の増額、JR烏山駅周辺の市街地における公共施設の再編整備構想策定のため都市計画総務費324万円の増額、防火水槽の解体に伴う消防水利施設整備費134万円の増額、江川小学校の消火水槽給水管漏水対応工事として江川小学校施設整備費236万3千円の増額、人生の並木路管理育成費193万8千円の増額、学校給食センターの機器修繕のため学校給食センター運営費101万6千円の増額などです。

また、「英語コミュニケーション推

進事業ALT業務委託」の債務負担行為(31年度〜33年度)を追加しました。

○特別会計

介護保険は、前年度の保険給付費、地域支援事業費の精査に伴い6557万円を増額し、27億4307万円としました。

下水道事業は、汚泥サービスタック用水位センサー修繕および管渠築造工事費として317万4千円を増額し、3億9587万4千円としました。

簡易水道事業は、簡易水道資産台帳電子データを水道事業資産台帳システムへデータ変換し移管する業務委託費として43万2千円を増額し、8568万7千円としました。

○企業会計

水道事業は、国道改良工事に伴う中山地内配水管布設替工事および志鳥地内配水管布設替工事に伴い、資本的支出3917万2千円を増額し、3億7940万円としました。

さらに、落雷により故障したテレメータ更新工事に伴い、資本的支出3277万8千円を増額し、4億1217万8千円としました。



▲今年築城600年を迎えた烏山城。10月14日(日)には、記念イベントが開催されます。

## 条例の一部改正

・ 個人情報等の取扱いに関する苦情申出の対応を明確にし、運用の適正化を図るため、「市個人情報保護条例」を一部改正しました。

・ 栃木県の最低賃金の改定に伴い、「市嘱託職員及び臨時的任用職員の任用、給与その他の勤務条件に関する条例」を一部改正しました。

・ 家庭的保育事業者等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令の改正に伴い、「市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例」を一部改正しました。

・ こども館に設置している烏山放課後児童クラブを、烏山小学校南舎に移転するため、「市放課後児童健全育成事業実施条例」を一部改正しました。

## 市教育委員会委員の人事

・ 市教育委員会委員について、平成30年11月29日に任期満了を迎える阿久津昌子氏を引き続き委員として任命することが同意されました。

## 人権擁護委員の人事

人権擁護委員の平塚禮子氏および橋本恵子氏が平成30年12月31日に任期満

了となることに伴い、後任として引き続き橋本恵子氏と、新たに郡司マサ子氏を候補者として推薦しました。

## 議決事項

平成29年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分について、29年度の未処分利益剰余金の当年度未残高3億8,384万9,845円のうち、9,000万円を減債積立金に積み立てました。

## その他

・ 損害賠償の額の決定及び和解に関する専決処分1件、一般財団法人那須烏山市農業公社の平成29年度の経営状況説明書、平成29年度健全化判断比率及び資金不足比率（詳しくは5ページに掲載）について報告しました。

・ 市議会議長あてに提出された「東海第二原発の稼働延長を認めない意見書の提出を求める陳情」が採択され、原子力規制委員会に「東海第二原発の稼働延長を認めない意見書」を、茨城県東海村ほか立地・隣接自治体に「東海第二原発の稼働延長を認めない旨の意見陳述を要望する意見書」を提出することとなりました。

## 那須烏山市教育委員会会報

30年度「第2四半期」7月～9月

第7回教育委員会(7月27日(金))

○ 区域外就学の許可を承認  
○ 要保護及び準要保護児童生徒の認定及び廃止を承認

○ 平成31年度使用小学校用及び中学校用並びに小中学校特別支援学級用教科書図書を選択

第8回教育委員会(8月17日(金))

○ 平成30年度那須烏山市一般会計(教育費関係)補正予算(第2号)を決定

第9回教育委員会(9月28日(金))

○ 就学指定校の変更を承認  
○ 区域外就学の許可を承認

○ 那須烏山市幼稚園管理規則の一部改正を決定  
▼その他の出席

・ 8月27日(月)・・・広島平和記念式典派遣事業報告会

・ 9月18日(火)・・・中学生海外派遣団結団式

・ 9月22日(土)・・・荒川小秋季運動会  
・ 9月29日(土)・・・つくし幼稚園運動会

## シリーズ 市の文化財 第89回

市指定天然記念物

### 稲積城址の祠叢 (下境)



現在、稲積神社の残る稲積城址があった高台に、小さな祠があります。この祠は、大きなイロハモミジの根元にあり、祠と木を囲むように大小さまざまな針葉樹、広葉樹を含む7科8種、約24本の樹木がまるで1本の樹木のように生い茂っています。樹高は約22m、東西30m、南北22mあります。

これだけの面積に樹木が密集しているにもかかわらず枯れずに生長している姿は、学術上貴重です。なお、「祠叢」という用語は造語で、神社の森「社叢」ということから、祠の回りの叢(林)の意味で名づけました。

## 第13回那須烏山市水泳大会

### 水中で熱い戦いを繰り広げる

9月1日(土)、南那須B&G海洋センターで毎年恒例となった「第13回那須烏山市水泳大会」が開催されました。

今年は市内外から57人が参加し、熱い戦いを繰り広げました。結果は次のとおりです。

#### ■種目別優勝(敬称略、「新」は新記録)

〔25mビート板〕小学4年生以下…塩野目公英(烏山小4年)  
〔25m平泳ぎ〕小学4年生以下…久保居舜(荒川小4年) / 小学5・6年生…田角優月(馬頭小5年) / 一般…野々村留美子  
〔50m平泳ぎ〕小学4年生以下…大



左から総合優勝した樋山さん、生魚さん、両方さん。

森悠生(境小4年) / 小学5・6年生…手塚貴心(烏山小6年) / 中学生…樋山宗一郎(烏山中3年) / 一般…三輪善紀

〔25mバタフライ〕小学4年生以下…内藤優羽(荒川小3年) / 小学5・6年生…生魚祐晴(境小6年) / 「新」

〔50mバタフライ〕小学4年生以下…平野真央(荒川小4年) / 小学5・6年生…安田知暉(烏山小6年) / 一般…檀測健洋

〔25m自由形〕小学4年生以下…久保居舜(荒川小4年) / 小学5・6年生…村山晴琉(江川小5年) / 一般…周藤美生子

〔50m自由形〕小学4年生以下…両方芽依(境小4年) / 小学5・6年生…生魚祐晴(境小6年) / 中学生…樋山宗一郎(烏山中3年) / 一般…近内夢大

〔25m背泳ぎ〕小学4年生以下…菊地恵太(境小3年) / 小学5・6年生…根本暁汰(江川小5年) / 一般…周藤美生子

〔50m背泳ぎ〕小学4年生以下…両方芽依(境小4年) / 「新」 / 小学5・6年生…川上爽蒼(江川小5年) / 中学生…斉藤樺恋(烏山中3年) / 一般…鈴木喜美子



里山コースでポタリングを楽しむ参加者。

## 市町の新たな魅力を発見！ カラセンめぐりポタリング

9月24日(月・祝)、「カラセンめぐりポタリング」が開催され、市内外から225人が参加しました。

これは、高根沢町観光協会が主催する「たかポタ」に、那須烏山市、高根沢町、JR東日本大宮支社、栃木銀行で構成するJR烏山線沿線まちづくり推進協議会が共催し、那須烏山市までコースを拡大して実施したものです。

ポタリングとは、自転車でのんびり行う散歩のことで、豊かな自然や農産物など、その土地の魅力

を発見できることが特徴です。

当日は、高根沢町のJR宝積寺駅を発着点とし、40キロで起伏が

少なくファミリー向けの「田園コース」と、70キロで起伏を含む上級者向けの「里山コース」の2コースが行われ、自転車愛好者や家族連れなどが初秋の里山を満喫しました。

また、8か所のエイドステーション(休憩所)では、中山かぼちゃアイスや鮎の塩焼き、八溝そばなどが振舞われ、参加者の疲れを癒しました。

## 第41回少年の主張発表南那須地区大会

### 中学生が熱い思いを発表

中学生が、夢や未来へのメッセージを発表する、第41回「栃木県少年の主張発表南那須地区大会」が、9月11日(火)、烏山公民館で開かれました。

大会は、南那須地区青少年育成連絡協議会や那須烏山市、那珂川町などが主催するもので、地区内の中学校から代表4人がそれぞれの熱い思いを発表しました。

最優秀賞には、「地域性の違



最優秀賞を受賞した石田さんの発表。



# 市内各地で舞を披露 地域の伝統受け継がれる

## ■三箇塙の天祭

国選択無形民俗文化財「塙の天祭」が、9月2日(日)、三箇の松原寺で行われました。

天災を除け五穀豊穡を願って、毎年、二十十日(現・9月1日)前後に行われている同行事。当日は、揃いの法被姿で地元の小学4年生から6年生13人が「奉納太鼓」を披露。その後小学3年生4人も加わり、17人で「天祭踊り」などの踊りを奉納し、市内外から訪れた人々を楽しませました。



三箇塙の天祭。

は、「少子化、過疎化によって子どもたちや指導者が減ってきているが、若い人たちに積極的に祭りに参加してもらい、伝統をつなげていきたい」と話していました。また、踊りを披露した江川小6年の石川駿さん、滝口咲斗さん、阿部亮介さんは、「緊張したけれど、練習の成果を発揮することができた。奉納太鼓の時にしっかりと掛け声を出せたので良かった」と笑顔を見せました。

## ■宮原八幡宮観世流太々神楽

市指定無形民俗文化財「宮原八幡宮観世流太々神楽」が、9月16日(日)、宮原の落石釣堀で披露されました。

この太々神楽は、宮原八幡宮祠官斎藤松寿氏が、伊勢神宮権禰宜を数年勤め、明治17年(1884)に神楽の面20のほか、口伝、用具などを携えて帰郷し、斎藤主膳を師匠として伝承したのが始まりとされ、五穀豊穡などが祈願されています。

後継者不足のため、一時は中断



宮原八幡宮観世流太々神楽。

されたものの、昭和58年に保存会を結成し、10年前からは、宮原の敬老会で舞を披露しています。また、昨年に引き続き、上境の敬老会でも披露し、お年寄りを楽しませました。

舞は全部で39座あり、敬老会では、「八岐大蛇舞」や「農業舞」などが披露されました。

宮原八幡宮観世流太々神楽保存会の大橋一豊会長は、「後継者不足が懸念されるが、若い人たちに入ってもらい協力して伝統を継承していきたい」と話していました。

いを知ることで」を発表した、烏山中3年の石田陽人さんが選ばれました。発表は、小学校卒業と同時に東京から那須烏山に転校し、地域性の違いに悩みながらも、どうしたら違いを乗り越え、理解し合えるかと葛藤した経験から、相手を尊重しつつ、

自分の意見をうまく伝えられるようにしたいというもの。経験から出た答えを実行していいこうという姿勢や堂々とした発表が、高い評価を受けました。

石田さんは、9月22日(土)、栃木県総合文化センターで開かれた県大会へ出場しました。

## 第7回図書館まつり

### 1829人の親子連れでにぎわう

9月9日(日)、南那須図書館で、「第7回図書館まつり」が開かれ、1829人の親子連れが訪れました。

参加者には、市長賞や教育長賞、館長賞などが贈られました。

また、「読書通帳」の達成者の表彰では、子どもの部で500冊読破を達成した10人、大人の部では300冊読破を達成した11人に表彰状と記念品が贈られました。

当日は、図書や雑誌を無料で配布するリサイクルフェアがイベント開始前から長蛇の列ができるほど大盛況。毎年大人気のこの催しですが、今年は、午前と午後で開催され、多くの人でにぎわいました。その他にも、お楽しみ抽選会や押し花のしおり作り、図書館ボランティアによるおはなし会、なすから英語塾による絵本の読み聞かせなど様々な催しが行われました。

毎年恒例のジャンボかぼちゃコンテストでは、個人は須藤将臣さんが87・5キロ、団体は江川小学校が54・0キロで優勝。



たくさんの人でにぎわうリサイクルフェア。

## 地域資源を活用し雇用創出 成果物公開セミナーを開催



実践支援員によるセミナー。

8月27日(月)、那須烏山市地域雇用創造協議会による成果物公開セミナーが、市役所烏山庁舎で開かれ、25人が参加しました。

同協議会では、事業拡大や創業による地域の雇用創出を目的として、地域資源を活用したメニューや新商品、観光コースの開発など様々な取り組みを行っています。

セミナーでは、観光コースとして5月に実施された市の自然豊かな里山を利用した「森だくさん体験ツアー」や市産の米粉を使ったスコーンが紹介されたほか、新メニューとして、今年築城600年を迎えた烏山城の石垣をイメージしたおやきの「烏山城石垣おやきセット(仮称)」、那須烏山市の民話「千足峠」をイメージした「千足峠わらじ丼」が紹介され、取り扱いを希望する事業者を募りました。

また、烏山城築城600年を記念した商品開発も進めており、10月14日(日)に開催される「烏山城築城600年記念イベント」に合わせて販売が予定されています。



新商品の試食をする参加者。

## 介護予防・助け合い活動の担い手を養成 なすから元気サポーター講座

市と社会福祉協議会では、「なすから元気サポーター講座」を開催しています。これは、地域住民が主体的に介護予防や支え合い活動を推進するために、市と社会福祉協議会が連携することで活動の担い手を養成し、必要な体制づくりを目指すものです。講座は、知識を習得する基本編と技術を習得する実践編が9月から11月にかけて計7回行われています。

初日となった9月13日(水)は、28人が参加し、全国各地で地域福祉

やボランティア、まちづくり、災害支援などに関する講演を行っているローカリズム・ラボ代表の井岡仁志さんを講師に、「支え合いの地域をめざして」10年、20年先を見据えた住民参加の福祉のまちづくり」と題した講演が行われ、参加者は地域の助け合い活動の重要性と全国の様々な活動について理解を深めました。講演後には、「2025年までの7年間に自分や地域としてどんなことに取り組みたいか」をグループで話し合いました。



座談会で今後取り組みたいことを話し合う参加者。

## なすから健康講座 禁煙で生活習慣病を予防し健康に！

市では、生涯を通じた健康づくりや疾病予防に青壮年期から取り組むことを目的に、市内事業所などに向き、「なすから健康講座」を開催しています。

9月3日(月)、13日(水)には、矢崎部品株式会社栃木工場で「禁煙」をテーマとした講座を開催し、社員約280人が参加しました。

講座では、市保健師からたばこに含まれる一酸化炭素、タール、ニコチンが身体に与える動脈硬化、

血管収縮などの悪影響についてや、たばこを吸うことで発症する病氣、禁煙外来などが紹介されたほか、肺チエッカーによる肺年齢診断も行いました。

受講した柳生宏司さんは、「たばこが与える影響の話が、とてもためになった。肺年齢診断では、実年齢を上回る結果だったので、これからは、今よりも気をつけていきたいと思う」と話していました。



矢崎部品株式会社で行われた講座。

# 在宅医療のあれこれ Part 6

## — 管理栄養士が行う在宅医療 —

### 〈現状〉

在宅療養者が今後ますます増えていく中、在宅での栄養管理が必要になっていきます。現在、管理栄養士は地域（市町・病院・施設など）で活動しています。

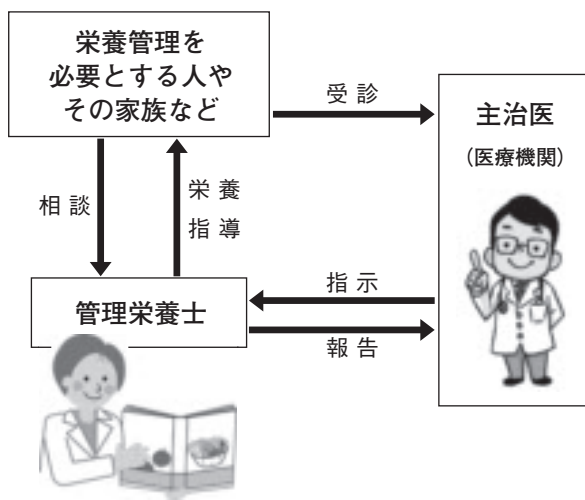
市町に勤務する管理栄養士は訪問による栄養相談も行い、少しでも多くの在宅療養者や介護者のニーズに応え、栄養改善につながるよう、具体的な食生活のアドバイスや指導を行っています。

### 〈管理栄養士がこんなご要望にお応えします〉

たとえば…

- ・医師から「糖尿病や腎臓病などの食事療法が必要」と言われた。  
→医師の指示のもと病状に合った食事内容を指導します。
- ・食欲がなく、食事が食べられない。  
→少量でも栄養が摂れる調理方法や食材のアドバイスをします。
- ・痩せてきたもしくは太ってきた。  
→不足している栄養素または過剰栄養をコントロールする方法を提案します。

### 〈栄養指導で指導を行う流れ〉



市では定期的に「健康・食生活相談」を実施しておりますので、お困りの場合は管理栄養士にお気軽にご相談ください。

〈相談窓口〉  
健康福祉課 健康増進グループ ☎0287-88-7115

在宅医療推進委員管理栄養士

## 消費者コラム⑩

# 消費者ほっと♥らいふナビ 知っておきたい食品の表示⑩

皆さんは、「血圧が高めの方に」や「糖の吸収をおだやかにする」などと表示のある「特定保健用食品（トクホ）」についてご存知でしょうか？「特定保健用食品（トクホ）」は、国が定めた安全性や有効性に関する基準等に従って食品の機能が表示されている「保健機能食品」の一つで、「保健機能食品」には以下の3種類があります。

### 【栄養機能食品】

1日に必要な栄養成分（ビタミン、ミネラルなど）が不足しがちな場合、その補給・補完のために利用できる食品です。既に科学的根拠が確認された栄養成分を一定の基準量含む食品であれば、特に届出などをしなくても、国が定めた表現によって機能を表示することができます。

### 【特定保健用食品（トクホ）】

科学的根拠に基づいた機能を表示した食品です。表示されている効果や安全性については国が審査を行い、食品ごとに消費者庁が許可しています。



### 【機能性表示食品】

事業者の責任において、科学的根拠に基づいた機能を表示した食品です。販売前に、安全性および機能の根拠に関する情報などが消費者庁に届出されたもので、トクホとは異なり、消費者庁の許可を受けたものではありません。

### 【正しく利用するために】

保健機能食品を摂取する場合、「1日当たりの摂取目安量」や「摂取する上での注意事項」が表示されているので、必ず確認しましょう。

また、保健機能食品は医薬品とは異なり、疾病の治療や予防のために摂取するものではありませんが、医薬品との飲み合わせに注意を要するものもあるので、医薬品を服用されている方は医師、薬剤師に相談しましょう。

### 【食生活は、主食、主菜、副菜を基本に食事のバランスを！】

主食、主菜、副菜がそろっていると、いろいろな栄養素をバランスよく摂取することにつながります。

健康は、食生活を見直すことが第一歩です。その上で、保健機能食品を適切に利用し、健康づくりに役立てましょう。



那須烏山市消費生活センター（烏山庁舎1階、商工観光課内）  
【専用電話番号】0287-83-1014  
【受付時間】平日9:00～12:00、13:00～16:30  
※土・日曜日及び祝日は「消費者ホットライン☎188（局番なし）」へご相談ください。

ボウリング、ソフトテニス、ソフトボール…

# スポーツで大活躍！

## ボウリング

10月2日(火)から6日(土)にかけて福井県で開催された「第73回国民体育大会ボウリング競技」成年男子の部に興野出身の荒井崇聡さんが出場しました。

20歳からボウリングを始めた荒井さん。週に3〜4日練習に励み、腕を磨いてきました。今回の国民体育大会県予選に、所属チームの宇都宮ゴールドレーンで出場し優勝。栃木県代表として出場した関東ブロックでは、準優勝し、初の全国大会出場の切符を手に入れました。

全国大会の前に荒井さんは、「個人、ダブルス、団体の全種目で上位入賞できるように、大会までしっかりと調整していきたい」と意気込みを語りました。



【ボウリング】荒井さん。



【ソフトテニス】澤村さん。

## ソフトテニス

11月15日(火)、16日(金)に滋賀県で開催される「第5回全日本シニア東西対抗ソフトテニス大会」シニア75男子の部に月次の澤村祐毅さんが4年連続出場します。

中学生の時からソフトテニスを始めましたが、上京しプレーをする機会が少なくなってしまうというので、定年退職後、那須烏山市に戻ってきたことをきっかけに競技を再開しました。今は、週に3〜4日練習を行っているそうです。今回の県予選では、準優勝し、全国大会出場を決めました。

澤村さんは、「県大会で準優勝し、全国大会に出られるのはとても名誉なこと。テニスができる間は楽しんで続けていきたい」と話していました。

## ソフトボール

8月31日(金)から9月2日(日)にかけて石川県で開催された「第53回全日本大学女子ソフトボール選手権大会」に日本体育大2年で藤田出身の中山日菜子さんが出場し、優勝を果たしました。

中山さんは、準々決勝から決勝までの3試合に登板。準決勝では完封、園田学園女子大学との決勝では3対2でリードされていた6回の2アウト1塁の場面でリリーフ登板しピンチをしのぎ、最終回を抑え、逆転サヨナラ勝ちで14年ぶり19回目の優勝をもたらしました。

中山さんは、「3試合登板し、相手に1点も与えずに勝てたことが自信となった。これからスピードとコントロールの精度を高めて、より安定した投球を目指したい」と話していました。



【ソフトボール】中山さん。

## 長寿と健康を祝う

# 市内69の会場で敬老会を開催

9月17日(月・祝)の「敬老の日」を中心に市内102の自治会や10の施設など69の会場で敬老会が開催されました。今回は、76歳以上の4717人(男1820人、女2897人)が招待され、各会場で、食事や思い出話をしたり、歌や踊りなどの余興を楽しんだりするお年寄りの姿がみられました。

総務省が発表した人口推計(9月15日現在)によると、65歳以上の高齢者人口は、3557万人と、前年と比較すると44万人の増加となっています。総人口に占める高齢者人口の割合は28.1%となり、前年より0.4%増加と、過去最高になりました。

本市では、9月1日現在の65歳以上の人口が9317人(男4163人、女5154人)と、昨年より61人の増加。高齢率は34.65%で市内の最高齢者は106歳、100歳以上の高齢者は25人となっています。

日野町自治会敬老会。



上川井自治会敬老会。



## 剣道とマラソンで出場

11月3日(土)から6日(火)にかけて富山県で開催される「第31回全国健康福祉祭とやま大会(ねんりんピック富山2018)」に、剣道とマラソン競技で市内から2人が出場します。

剣道で出場するのは、旭2丁目の小田弘さん。中学校から始めた剣道は、武道における称号の2番目となる教士七段の腕前で、教職員時代には、全国教職員剣道大会で準優勝に輝いた実績もあります。今回のねんりんピック富山予選では、65歳以上の部で優勝。全国大会には、各年齢で上位となった5人1チームで団体戦に挑みます。現在は、週3〜4日、稽古を積み調整に入っているという小田さん。大会では、「県の代表として、できる限りの力を出し切り、まずは予選を突破したい」と意気込みを語りました。



【剣道】小田さん。



【マラソン】大木さん。

マラソンで出場する野上の大木己芳さんは、全国大会へは4回目の出場となりました。

健康のために50歳から始めたマラソンですが、今では趣味となり、月平均で約300キロはトレーニングに費やすほどの熱中ぶり。市内で行われているマラソンや駅伝大会のほか、県内各地のマラソン大会では、何度も上位入賞を経験しています。また、過去に出場したねんりんピック全国大会でも、2回3位入賞を果たすなど好成績を収めています。

大木さんは、「ねんりんピックでは、全国から強い選手が集まるので、まずは入賞目指して精一杯頑張りたい」と話していました。

## 災害対策は万全ですか？再確認しましょう

今年は、6月の大阪府北部地震、7月の西日本を中心とした豪雨、9月の台風21号、24号、北海道胆振東部地震により、日本各地で甚大な被害が発生しています。

本市でも、平成23年に発生した東日本大震災により大きな被害を受けたことは記憶に新しく、日頃より防災・減災対策を進めています。今一度、災害に対する備えについて、一人ひとりが考え、各家庭においても話し合みましょう。

災害は発生するものとして考えておかなければなりません。しかし、災害による被害を小さくする「減災」への取り組みを一人ひとりが行うことにより、被害を最小限に留めることが可能になります。行政による「公助」は言うまでもありませんが、自分の身は自分で守る「自助」、家族や友人、ご近所で手を差し伸べ合う「互助」、地域での支え合いである「共助」についてもご理解いただき、日頃から災害に対しての備えを進めておくようお願いいたします。

### ■家具の置き方に問題はありますか？

大きな地震が起こると家具は倒れてしまいます。転倒防止策

をしておくとともに、手の届く範囲に懐中電灯やホイッスルを備えておきましょう。



### ■食料・飲物などの備蓄は十分ですか？

電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて、普段から飲料水や非常食などを備蓄しておきましょう。

### ■非常用持ち出しバッグの準備はできていますか？

自宅が被災した場合は、安全な場所で避難生活を過ごすこととなります。非常時に持ち出すものをあらかじめ準備し、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。



### ■ご家族同士の安否確認方法は決まっていますか？

離れた場所にいる場合でもお互いの安否が確認できるように、安否確認の方法や集合場所などを、事前に話し合っておきましょう。

### ■避難場所や避難経路を確認していますか？

あわてずに避難するためにも、ハザードマップを活用し、避難場所や避難経路、自宅の近くにある「浸水想定区域・土砂災害

特別警戒区域・土砂災害警戒区域」を確認しましょう。ハザードマップは、以前に各戸配付したほか、市ホームページにも掲載しています。



### ■防災・行政情報メールを登録しましょう

市では、防災情報や行政情報のメール配信サービスを行っています。配信を希望する人は、下記のQRコードを読み取るか、アドレスを直接入力して登録をお願いします。迷惑メール対策等受信拒否設定をしている場合は、下記アドレスからのメールが受信できるように設定を変更するようお願いいたします。



### 【登録用アドレス】

bousainasukasurasyama-city@raidens3kitaivork.jp

※平成30年4月1日より市の防災・行政情報メールが新しくなっています。

また、災害に関する情報や避難に関する情報も市ホームページに掲載しています。大切な家庭を守るため、日頃から気象情報に注意し、避難場所を確認するなど、災害に備えましょう。

■問合せ 総務課危機管理グループ  
☎0287-83-1117

ウェブ上で市内のイベントを一覧に！

## イベントカレンダー@那須烏山が話題

金井2丁目の平野達朗さんが、市内の民間や公共のイベント情報をカレンダー形式にまとめたウェブサイトを「イベントカレンダー@那須烏山」を立ち上げました。

平野さんは、市政への市民参画を促すことを目的とする団体「さんかくサロン」の代表。今回のサイト立ち上げは、サロンで「このまちの観光を盛り立てるために、市民の立場から何かできること」をテーマとした際に出た意見をくみ取り、ボランティアで実践した

ものです。

サイトは7月末に開設。自ら情報収集し、誰でも気軽にイベント情報をチェックできるようなカレンダー形式にまとめたのが特徴です。イベントを企画する団体からは「他の団体のイベントと日程が被らないですみそう」と好評です。

平野さんは、「市内で開催されるイベントは意外と多く、楽しめるものばかり。このサイトを利用してもらい、多くの人に市の魅力を感じてほしい」と話していました。



ウェブサイトを制作する平野さん。

「イベントカレンダー@那須烏山」<http://nasukarasuyama-event.jindofree.com/>

## 認知症になっても安心なまちづくりを目指して RUN伴栃木2018本市で初開催



烏山駅前広場をスタートする参加者。

認知症になっても安心して暮らせるまちを目指し、今まで認知症の人と接点がなかった地域住民と、認知症の人や家族、医療福祉関係者がリレーをしながら、一つのタスキをつなぎ、日本全国を縦断するイベント「RUN伴」の栃木県大会が9月22日(土)、23日(日)に県内各エリアで開催されました。

烏山エリアでは、22日に「RUN伴2018実行委員会チームなすから」が中心となり、JR烏山駅前広場を発着点にリレーが行われ、約150人がタスキをつなぎました。また、併せてステージイベントなども行われ、市内の団体によるダンスパフォーマンスや子どもたちを対象とした体操なども行われました。

実行委員会の横山孝子代表は、「認知症でも地域の人が支えることで生活できるということをおして伝えたい」と話していました。

### 社会貢献活動の一環として

## 東北化工株式会社が清掃活動

藤田の東北化工株式会社では、9月14日(金)に、南那須図書館および保健福祉センター周辺の清掃活動を行いました。

この活動は、社会貢献活動の一環として3年前からはじまったもので、年1回、会社の各部門から集まった社員で、草刈りやごみ拾いなどを行っています。総務部主任の渋井俊明さんは、「少しでも地域の役に立てるよう、これからも継続していきたい」と話していました。



草刈りを行う東北化工株式会社の皆さん。



## まちのわだい

◇「広報なすからすやま」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報広聴グループ ☎0287-83-1112

地域住民が輪になり踊る

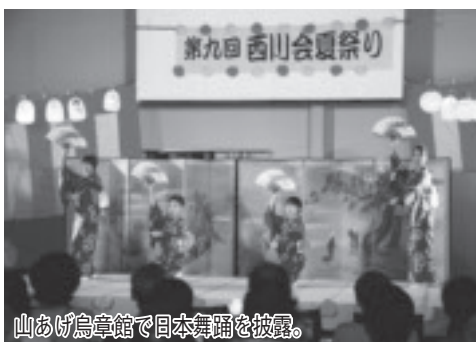
## 第9回西川会夏祭り

9月1日(土)、西川会(西川扇士浪代表)による「西川会夏祭り」が、山あげ烏章館周辺を会場に開かれ、地域住民約350人が訪れました。

この祭りは、古き良き日本の風物詩を残そうと毎年開かれていたもので、今年で9回目を迎えました。

当日は、同会による日本舞踊のほか、烏山常磐津教室による

三味線の演奏や歌などが披露されました。その後、山あげ会館前駐車場に提灯や櫓を設置した特設会場に場所を移し、盆踊り大会が行われました。櫓を中心に、同会のメンバーや参加者などが「日光和楽踊り」や「東京音頭」、「ダンシングヒーロー」の曲に合わせて踊りました。また、盆踊り大会の合間には、防災の日に合わせて防災〇×クイズも行い、子どもたちが防災の知識を楽しく学びました。



山あげ烏章館で日本舞踊を披露。

## 第5回OOGANE木漏れ日マーケット 親子連れ約5700人でにぎわう

9月16日(日)、JR烏山線大金駅前を会場に、「第5回OOGANE木漏れ日マーケット」(同実行委員会主催)が開催され、親子連れ約5700人が訪れました。

これは、子どもと地域のコミュニケーションを図るとともに大金駅前を活性化することを目的に、地域住民や企業、まちづくり団体などが協力して開催している手作りマーケットです。当日は、新鮮野菜やかき氷、わたあめなどの販売が行われた

ほか、市内のダンスチーム「Rough Diamond」や「ビートクラッシュ」などによるステージイベントが行われました。また、ピング大会も開催され、会場は大いに盛り上がりました。

同実行委員会委員長の矢口和美さんは、「今回は、にぎやかで馴染みやすいイベントとして開催することができた。今後も、様々な年代の人たちに、1日楽しんでもらえるようなイベントにしていきたい」と話していました。



ビートクラッシュによるダンスステージ。

## 秋の交通安全県民総ぐるみ運動 交通事故防止運動盛んに

秋の交通安全県民総ぐるみ運動が、9月21日(金)から30日(日)までの10日間で行われ、交通事故防止に関する様々なイベントが開催されました。

### ■特別街頭指導

初日となった21日(金)には、川俣純子市長や吉村孝那須烏山警察署長をはじめ、交通安全協会の会員など30人が、旭交差点で特別街頭指導を行いました。

当日は、JANAす南梨部会の協力を得て、「交通事故なし」にかけた「梨」約300個や交通事故啓発チラシなどを信号待ちをするドライバーに配布し、安全運転を呼びかけました。



事故「梨」を配布する川俣純子市長(右)と吉村警察署長(左)。

### ■スケアドストリート交通安全教室

同日、南那須中学校では、スタントマンが実車両を使用して交通事故状況を再現するスケアドストリート方式による交通安全教室が開催され、南那須中や烏山中、烏山高校の生徒など約260人が参加しました。

交通安全教室では、自転車の事故の実演などが行われ、参加者は日常に潜む事故の危険性を学びました。

参加した南那須中1年石倉優美さん(鴻野山)は、「事故の再現を見てとても怖いと思った。事故を起こさないよう気をつけていきたい」と話していました。



スタントマンによる交通事故の実演。

# おめでとう★

赤ちゃん名 (保護者)住所  
 仙田 葉空 (翔・美咲) 神長  
 立石 麻陽 (祐輔・彩乃) 南1丁目  
 入野 瑞基 (安生・紀子) 神長  
 齋藤 汰 (祐一・臺江) 野上  
 小田戸 歩 (良夫・真澄) 滝田  
 青木 信弥 (勇人・聡美) 野上  
 高野 鳳丞 (智之・悠) 興野  
 柴田 紗希 (拓也・美幸) 三箇  
 山口 風香 (幸男・礼子) 月次  
 佐藤 光虹 (飛鳥・美穂) 南1丁目  
 鈴木 瑠莉 (大輔・裕果) 曲田  
 荒井 絢依斗 (祐紀・沙織) 鴻野山  
 高野 航生 (卓人・和世) 大金

# スポーツの結果★

●第34回青少年空手道結城大会(8月12日)結城市かなくほ総合体育館  
**【団体の部】小学生団体組手の部**▽準優勝・南那須空手道(平野真広、平野瑛士、萩原琉衣)  
**【個人の部】小学3〜4年男子組手の部**▽優勝・寺澤聖心(南那須空手道)▽第3位・五十嵐大夢(南那須空手道) 【小学5〜6年男子組手の部】▽第3位・生魚祐晴(白聖会空手道)  
 ●第10回那須烏山市自治会対抗親善野球大会(8月19日、26日)緑地運動公園(烏山野球場、大桶運動公園)



今年も高瀬地区でヒガンバナが咲きました。

▽優勝・城東・泉滝田 ▽準優勝・こぶし台 ▽第3位・日野町、野上  
 ●第37回日本空手道白聖会選手権大会(8月26日)板橋区小豆沢体育館  
**【形の部】小学下級(1〜2)女子形**▽第3位・大輪映奈(境小2年) 【小学生上級(5〜6)女子形】▽第3位・大輪莉央(奈・境小5年)  
**【組手の部】小学生下級(1〜2)男子組手**▽準優勝・荒井斗馬(鳥小2年) ▽第3位・齋藤陽(鳥小2年) 【小学生下級(1〜2)女子組手】▽優勝・大輪映奈(境小2年) ▽準優勝・大輪映奈(境小2年)  
**【小学中級(3〜4)男子組手】**▽優勝・鈴木徳真(荒小4年) ▽準優勝・人見瑠稀(鳥小4年) 【小学中級(3〜4)女子組手】▽優勝・荒井萌維(七小3年) ▽準優勝・小森陽望(境小3年) 【小学生上級(5〜6)男子組手】▽優勝・荒井港成(七小6)

年 ▽準優勝・生魚祐晴(境小6年) ▽第3位・阿部亮介(江小6年)、村山晴琉(江小5年) 【小学生上級(5〜6)女子組手】▽優勝・大輪莉央(奈・境小6年) ▽準優勝・荒井亜美(鳥小6年) 【高校生一般女子組手】▽優勝・生魚瑠那 【一般女子シニア組手】▽優勝・生魚英子 【一般有段男子シニア組手】▽優勝・生魚邦龍 ▽準優勝・新井元  
 ●日本八幡旗第20回関東学童軟式野球新人大会 栃木県予選会 第1ブロック地区予選(9月1日)大桶運動公園 ▽第3位・那須烏山クラブ

# ふるさと応援寄附金

荒木直吉様(東京都八王子市)、小林隆二様(愛媛県宇和島市)、豊田彬様(下野市)、から各1万円、匿名希望者様14人から計21万5千円が本市に寄附されました。

# 交通安全カーブミラーの寄附

那須南農業協同組合(荒井節組合長)から交通安全カーブミラー1基が寄附されました。このカーブミラーは、野上地内に設置されました。

# 市立中学校著書寄贈

長津功三良様(山口県岩国市)から「わが基町物語」2冊が市内中学校へ寄贈されました。

# 編集後記



○台風24号すこかったです。雨風の音で夜中何度か起きてしまい次の日は寝不足でした。全国で災害が発生しているのでもみなさんも万が一に備えて再確認や準備をしましょう。災害対策についての記事が13ページにも載っているので要チェックです！  
 ○話は変わりますが、先日仲良しのYちゃんに「秋ってなんだろう?」と聞くと、「栗ひろいじゃない?」と教えてくれました。私は、残念ながらまだ、栗ひろいが出来ていません。今年も、栗を使ったお菓子を作りたいなあと考えているので、美味しそうな栗を探しに行こうと思います。おいしい栗の見分け方を誰か教えてくださいー!おすすめ栗のお菓子のレシピもぜひ、教えてくださいー! ☺  
 ○秋といえばこの間、秋刀魚を食べました!秋刀魚を食べると秋が来たりな〜と感じます。学生の頃はあまり好きではなかったのですが、ここ2年程秋刀魚が好きになってきました。味覚が変わってきたのかな?秋はおいしいものがいっぱいあるので、ぼっちゃんのように気をつけたいと思います(汗)



# Information



# 新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204

烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★  
http://www.lib-nasukarasuyama.jp/

## ★一般図書★

- 『コンフィデンシャルあの会社の真実』 日本経済新聞社  
 『「生活保護法」から「生活保障法」へ』 生活保護問題対策全国会議  
 『へんないきものもよう』 早川 いくを  
 『おかずレパートリー過敏性腸症候群』 松枝 啓  
 『どんな災害でもイヌといっしょ』 徳田 竜之介  
 『愛×数学×短歌』 横山 明日希  
 『牧水の恋』 俵 万智  
 『ヨーコさんの“言葉”』 佐野 洋子  
 『対岸の家事』 朱野 婦子  
 『信長の原理』 垣根 涼介  
 『鳥居の密室』 島田 莊司  
 『一度だけ』 益田 ミリ  
 『廃墟ラブ』 原 宏一

## ★児童図書★

- 『名字ずかん』 森岡 浩  
 『赤はな先生に会いたい!』 副島 賢和  
 『日本のおかしな現代妖怪図鑑』 朝里 樹  
 『電車大集合!』 山崎 友也  
 『うさぎがおうちにやってきた!』 岡野 祐士  
 『忍者の迷路』 香川 元太郎  
 『稲妻で時をこえろ!』 小森 香折  
 『おいもころころ』 いもと ようこ  
 『きみのおへやみせてみせて』 鵜飼 美帆  
 『ショベルくんとあおいはな』 ヨーゼフ クフラー  
 『いじめているきみへ』 春名 風花  
 『じめんのしたにはなにがある』 中川 ひろたか

2018.9.1現在  
( )対前月比

人口 25,748(-62)

男 12,761 女 12,987

出生 13 死亡 39

転入 63 転出 99

世帯数 9,370

## 市の人口

※平成27年国勢調査を基に集計した統計人口です。

## 文芸コーナー★

### 俳句

水野 信一 選

秋の蚊の部屋の一匹ただならす

川俣登志子(旭)

山あげのひと熱さめて虫の声

石川真由美(大桶)

ふる里へこころ誘ふ虫しぐれ

古内 晴代(金井)

下り鮎山河かがやく釣の郷

高徳 美井(大金)

### 川柳

篠崎 酔月 選

権力が裏で自由に操作する

久郷 牛歩(高瀬)

五月雨を神は豪雨と取り違い

杉山幸栄子(八ヶ代)

一杯の水で安らぐ野良仕事

萩原 宜子(中央)

裏側を知った心の隙間風

小堀 翠泉(中央)

### 短歌

福澤 悦子 選

色褪せし余生を思ふ峡の空虹たつこともなく

須藤 ヤス(志鳥)

て昏れたり

鈴木 豊(谷浅見)

「九十歳何がめでたい」を肯定する婆の言葉に

鈴木 豊(谷浅見)

強く反論

鈴木 豊(谷浅見)

うっそうと樹木が繁る我が庭を見る度悩むど

安藤 伯麗(旭)

の木を切るか

安藤 伯麗(旭)

月一度のいきいきサロン楽しみに体操ゲーム

須田 孝子(城東)

老いを忘れて

### 作品集

毎月10日までに、総合政策課広報広聴グループ  
 (〒321-0692 那須烏山市中央1丁目  
 1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

### おわびと訂正

9月号3ページ「29年度は600件近く差し押さえました」の記事で、「前の年より285件多い」とあるのは誤りです。正しくは「前の年より153件多い」です。おわびし訂正いたします。

### ラジオ「なすから情報局」絶賛放送中!

レディオベリー (FM栃木) で那須烏山市の魅力をお届けする「なすから情報局」を放送しています。

放送局: 76.4FM RADIO BERRY

日時: 毎週火曜日午後3時30分~

※10分間

※番組の進行状況により開始時間が遅れる場合があります。

■まちづくり課 ☎0287-83-1151



シリーズ 烏山高校ってこんなところ！～地域連携活動編⑥～

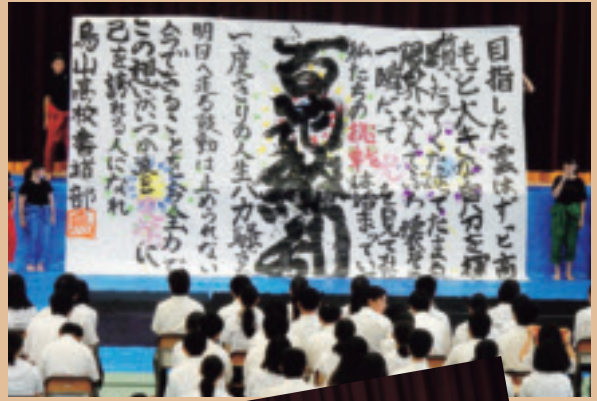
烏翔祭

8月31日(金)、9月1日(土)に、「第9回烏翔祭」が開催されました。今年度のテーマは、「百花繚乱」。各クラス、各団体が個性あふれる展示、発表を行いました。校内発表の初日は、吹奏楽部など6団体が日頃の練習の成果を発表しました。翌日の一般公開では、例年以上に多くの地域住民が来場し、にぎわいをみせました。

毎年、烏翔祭では烏高生による催しだけでなく、様々な団体による出品、出店が行われています。南那須特別支援学校の生徒による作品展示、あすなるパン工房によるパンや大和久福社会によるパン・クッキー販売といった「ご縁マーケット」が行われました。

南那須特別支援学校の生徒による作品展示では、個性あふれる様々な作品があり、「百花繚乱」のテーマにふさわしい展示となりました。また、パンやクッキー販売では様々な種類のパンやクッキーが売られ、多くの人が足を運びました。

生徒にとって、烏山高校が多くの人に支えられているということを改めて実感できる烏翔祭となりました。



那須烏山ジオパーク構想だより ⑬

みなさん、那須烏山でジオパークが始まったきっかけは、旧下江川中学校(現南那須中学校)の特設科学部だったことをご存知ですか?今回は、元部員で現在大学3年生の池尻平さん(志鳥)にお話を伺いました。

**Q 特設科学部に入学したきっかけを教えてください。**

小学生のとき、近所の河原で化石を見つけたんです。それで化石にすごく興味をもって…。中学校に入ったから先生から特設科学部に誘われたので、迷わず入学しました。

**Q 特設科学部ではどのような活動をしましたか?**

貝や大金クジラの化石、シモツケコウホネなどの調査を行いました。そして、那須烏山ジオパーク構想の前身となる「下江川ジオパーク構想」を作り、栃木県立博物館で発表しました。



博物館で実習中の池尻さん。

**Q 中学校卒業後も、ジオパークとの関係はありますか?**

高校では全くありませんでした…。でも大学は好きな地学系に進みました。その後も、中学校の恩師を通してジオパークに係わる機会がありました。今年の夏は、栃木県立博物館での地学実習で、化石のクリーニングなどをやりました。

**Q 今後、ジオパークにどう関わっていきたいですか?**

学芸員の資格を取って、ジオパークをはじめ地域振興に係わる仕事に就きたいと思っています。それに、地元でのジオガイドなど、何らかの形で地域に貢献していきたいですね。

夢に向かって突き進む池尻さん。ジオパークが目指す教育、郷土愛の醸成は「10年かけてようやくやく実る」。彼の夢を今後も応援していきたいと思っています。